

館山市・南房総市定住自立圏共生ビジョン（原案）に係る パブリックコメントで寄せられた意見及び回答

以下の意見が提出されましたが、共生ビジョン（原案）の修正には至りませんでした。

提出されたご意見 1	
原案ページ	P. 28 地域内外の住民との交流・移住定住の促進
ご意見	
<p>南房総地域は、東京の中心部から100km圏でありながら、温暖な気候と海や山がある自然豊かな地域にあります。</p> <p>都内からの日帰り観光としては、最適な場所であるため、宿泊を伴わない観光地域でもあります。</p> <p>ワーケーションも推進しておりますが、二地域居住・週末移住といったところからすると、観光宿泊に近い短期宿泊が多いように思われます。</p> <p>首都圏からの移住を検討した場合、週末移住 → 二地域居住 → 定住 の流れに移行するに当たりの課題は、主に「住む場所」と「働く場所」への対応が必要と考えております。</p> <p>提案：「休・廃校中の小中学校施設を活用した 移住居住拠点の整備」</p> <p>今回の提案に近い具体例として、南房総市白浜にある「シラハマ校舎」があります。シラハマ校舎は、主にレジャー施設としての位置づけですが、今回は「住む場所」と「働く場所」の確保を主眼に置いています。</p> <p>地域住民の交流施設と独立した小さな家と個室の事務所スペースを組み合わせた事業形態を考えております。</p> <p>「概要」</p> <ul style="list-style-type: none">・旧校舎に地域住民の交流施設・浴室・キッチン・トイレ機能を集約+残りの旧教室をSOHO用オフィス（個室+フリースペース）として貸出・校庭に6畳～8畳程度の小屋を建てて居住スペースとし、プライバシーを確保する。・パソコンを活用した業務を行う上でも必要最小限のインターネット環境・プリンター・FAXなどのオフィス機能が必要・SOHO用オフィスを法人契約も可能として、支店・営業所として活用できる様にするこにより、独立起業を後押しする。 <p>「着眼点」</p> <ul style="list-style-type: none">・20～30代が、地方移住を希望した場合に適した住宅が不足している。 ex) 古民家等の場合、修繕や購入となると多額の資金が必要となる。 ex) アパート暮らしだと、移住感がすくなく、リゾート感に欠ける・知らない土地に入ることになると地域住民との程よい距離感を掴むのに苦労する。	

ex) 移住しても、知り合いのいない状況になったり、過干渉になってしまい息苦しさをを感じる人も出やすい。

ex) 顔見知りになる接点を増やす事により、地元へ溶け込み易くする。

・低コストの住宅提供することにより、2地域居住 → 定住に向けての移住ハードルを下げられる。

「メリット」

・いわゆる、半農半Xといったライフスタイルを可能とする事により一定の収入を首都圏の業務から得ながら、農業・漁業・観光業やアウトドアスポーツを組み合わせたライフスタイルを実現できる。

・キャンプブームに伴い、小屋暮らしという新しいライフスタイルをアピールすることが可能

・安価な住居を提供することにより生活固定費を抑えることが出来るため、時給の低い1次産業でのアルバイト・就業へのハードルも下がり、若手人材の活用につながる。

・長時間就業を嫌う高スキルの若手人材が、収入と労働時間のバランスを見ながら働ける環境を実現する事により、若手就労人口を増やせる。

事業名	⑬移住定住・就業促進事業
事業概要	両市の行政機関とNPO法人及び関連機関等によるネットワーク(推進体制)を構築し、両市の移住・定住と圏域企業への就業(起業及び新規就農を含む)に関する情報の一元化や相談窓口のワンストップ化を図る。 また、定期的な意見交換・情報交換の機会を設け、圏域全体で移住と圏域企業への就業(起業及び新規就農を含む)を促進するとともに、定住に向けたフォローアップを行う。

回答

ご提案いただきました「休・廃校中の小中学校施設を活用した移住居住拠点の整備」は、今後検討すべき内容であると認識しています。

現在、週末のみ館山や南房総で過ごす二拠点居住やワーケーションの推進により、関係人口を拡大し、将来的な移住者の増加につなげることも重要と考え、関係機関や地域の事業者等と連携を深めながら受入環境の充実等を図っているところです。

特に、若い世代や子育て世代の方々に移住先として選択していただけるよう、多様で柔軟な働き方や暮らし方の推進、魅力的な働く場の創出に寄与する効果的な取組を両市で検討していきたいと考えています。

提出されたご意見2

原案ページ

P. 28 地域内外の住民との交流・移住定住の促進

ご意見

館山市と南房総市が一丸となり、当該地域の発展を目指す事は賛成し、一市民として協力可能な事には尽力したい。

【地域内外の住民との交流・移住定住の促進】に向けた一つの手段として、クルマの「ご当地ナンバー」取得を推進する事を盛り込んで頂けたら嬉しいです。

<p>「ご当地ナンバー」取得に向け、南房総市（+鴨川市+鋸南町）を含めた安房地域の横のコミュニケーションの活発化。取得後は、首都圏のリゾート地としての認識度アップにより、観光産業の活性化。一次産業の特産品のブランド化。更には、人の定住化、移住者増、2拠点生活者増、等が望める。</p>	
事業名	⑬移住定住・就業促進事業
事業概要	<p>両市の行政機関とNPO法人及び関連機関等によるネットワーク（推進体制）を構築し、両市の移住・定住と圏域企業への就業（起業及び新規就農を含む）に関する情報の一元化や相談窓口のワンストップ化を図る。</p> <p>また、定期的な意見交換・情報交換の機会を設け、圏域全体で移住と圏域企業への就業（起業及び新規就農を含む）を促進するとともに、定住に向けたフォローアップを行う。</p>
回答	
<p>安房3市1町でのご当地ナンバーの導入については、各市町の担当部署と検討を進めています。</p>	

提出されたご意見3	
原案ページ	<p>P. 18 ③介護人材確保に向けた普及啓発事業</p> <p>P. 23 ⑨生涯学習活動振興連携事業</p>
ご意見	
<p>介護の初任者研修、実務者研修をお茶の水、船橋まで通って受けたことがありますが、働きながらかなりの負担だった記憶があります。</p> <p>市内の高校で基礎職業教育を受けた生徒が、館山で介護の研修や、栄養士、管理栄養士、情報関係の資格取得を実現できるよう、教室を開いたり、専門学校を誘致したりする事が望ましいと思われます。これは、有利な就職に繋がるとともに、市内関連産業の人材確保に大きく貢献すると思われ、“ビジョン”の実現で資格取得を希望する学生も増えるこの機会に提案いたします。</p>	
事業名	
事業概要	
回答	
<p>高校で取得できる資格は限られており、就職に直結する資格の多くは講習受講や実務経験が必須です。現在、館山市内に専門学校が1校あるものの業種が限られているため、希望する資格を取得するため地域外に通わなくてはなりません。</p> <p>千葉県では、離職者等再就職訓練を実施しており、一部のカリキュラムは館山市でも開講していました。</p> <p>今回策定するビジョンでは具体的に挙げていませんが、雇用確保につながることから、集中講座等の誘致の検討を行います。</p>	

提出されたご意見 4	
原案ページ	P. 23 ⑨生涯学習活動振興連携事業 P. 28 ⑬移住定住・就業促進事業
ご意見	
<p>千葉県生涯大学校（館山）に在籍中ですが、両市住民に加え予想以上に多くの移住者と一緒に学んでいます。</p> <p>学校では高齢者教育やボランティア活動教育など“ビジョン”で検討されている“地域内外の住民との交流・移住定住の促進”が行われております。</p> <p>ビジョン実施の折には、生涯大学校を拡充して活用するのが、有効と思われます。</p>	
事業名	
事業概要	
回答	
<p>生涯大学校は、千葉県が設置する高齢者の生きがい・健康・仲間づくりの場を目標とした生涯学習の場を提供する施設であり、地域の学習環境の充実を重点としていることから、移住定住の促進を主な目的とはしておりません。また、その対象住民は南房学園の場合、木更津市から南房総市まで7市1町の地域となっており、2市に限定したものではありません。2市の活動に活用するためには県との調整が必須となりますので、ビジョンの事業が具体化した際に南房学園が適当な施設であると判断した際には、県と調整をしていきます。</p>	

提出されたご意見 5	
原案ページ	
ご意見	
<p>フェアトレードタウンを目指すことで、一緒にできることがあります。</p>	
事業名	
事業概要	
回答	
<p>館山市内において、フェアトレードを推進する企業が中心となり、館山市の「フェアトレードタウン」認定に向けた署名活動が行われていますが、認定には、行政のみならず、まちぐるみでの理解・取組の浸透が必要不可欠とされております。南房総市や企業等と協力し、まずは、フェアトレードの趣旨や目的を多くの市民の方々に知ってもらうため、地域全体でのフェアトレード推進の普及・啓発を行っていきたいと考えています。</p>	

提出されたご意見 6

原案ページ | P. 28 ⑬移住定住・就業促進事業

ご意見

当地に限らず日本全体での人口減少の状況を踏まえ、海外からの移住者や日本に在住する外国人を積極的に呼び込む戦略にフォーカスし、地域活性化に繋げる

●ビジョン：日本一外人フレンドリーな地域、館山市、南房総市を目指す
ターゲットを絞り、視点を変えて地域活性化に繋がった成功例として、日本中のローカルエリア活性化のお手本となる。また、高齢化社会が世界一進む国、日本のひとつの成功事例として、世界中にこの取り組みを発信（PR）していく。

●ステップ：

1. 準備

① 生活情報の英語化の強化 ② 市業務の外人対応強化 ③ 観光施設の英語対応強化 ④ 仕事環境の英語対応強化 ⑤ 地域住民の英語勉強（地域全体で英語を勉強、子供からシニアを含め、全員で勉強し、外国人をおもてなす、といった雰囲気を作り出していき、シニア層のいきがい、やりがい、気持ちの活性化などにもつなげる）、など
まずは、観光促進を入口とし、関係人口の増加→移住へと繋げる

2. 展開

上記の取り組みを以下のようなターゲットに対してアピールしていく

① 日本国内在住の外国人に向けての PR 活動（外資系会社の外人社員、大使館、各国商工会議所、など）

施策：ワーケーション推進、宿泊割引き、体験プランなど

② 海外に向けての PR 活動

施策：世界中で日本が一番進んでいる高齢化社会への対応を外国人との共生と地域全体での英語勉強の取り組みという戦略でチャレンジしている地域、ということを全世界に向けてアピール

③ 日本人に向けての PR 活動（International な環境で子供を育てたい、などの子育て世代へのアピールをして、地域内への移住促進に繋げる）

3. 目指すべき当エリアのイメージ

館山市、南房総市は、外国人の誘致に積極的でエリア全体で外人にも住みやすい環境を作り出している。また住民も子供からシニアまで英語に対しての学習意欲も高く、（日本人の子供にとっても）教育環境がいい、インターナショナルな生き生きとしたエリア

事業名

事業概要

回答

海外からの移住者を増やすことや、外国人来訪者の増加を推進するためには、地域住民の英語力向上が重要です。また、観光施設での英語対応能力の向上に加え、様々な外

国語に対応できることも求められています。

多文化共生のまちづくりは、ますます重要になってきているので、多くの市民に国際交流の重要性を理解してもらいながら、国内外に向けて当エリアのイメージづくりの方向性を検討します。

提出されたご意見 7	
原案ページ	P. 23 ⑨生涯学習活動振興連携事業
ご意見	
⑨生涯学習活動振興連携事業についてですが、館山市図書館で貸し出し書籍を南房総市内図書館で本の返却が出来ると有難いです。	
事業名	⑨生涯学習活動振興連携事業
事業概要	国から史跡指定を受けた里見氏城跡 稲村城跡 岡本城跡について両市で連携してポスターやHP等により情報発信を行う。 館山市図書館と南房総市図書館が連携し、各市で所有する資料の相互利用を行う。
回答	
共生ビジョンに位置づけた事業に基づき、まずは図書館資料の相互利用ができる体制を整備します。 図書館では、他館の所蔵資料を取り寄せるリクエストは可能ですが、別の館への返却は現時点でできません。県の相互貸借便は週1回であることから、仕組みの整備に時間を要しますが、実現に向け検討を進めます。	

提出されたご意見 8	
原案ページ	P. 24 ⑩社会体育施設連携事業
ご意見	
⑩社会体育施設連携事業についてですが、南房総市で体育館等を利用する際に市外料金になってしまうので、料金を館山市・南房総市間で統一していただけると、利用も増えるのではないかと思います。	
事業名	⑩社会体育施設連携事業
事業概要	館山市と南房総市の社会体育施設を連携、相互利用を促進することにより、利用者の利便性向上及び施設利用の合理化を図るもの。
回答	
社会体育施設の使用料は、2市とも市民料金と市外料金の2種類の設定となっています。まず、2市の市民であれば同じ料金の適用となるよう、制度を整備し、将来的に使用料の統一を視野に進めていきます。	

提出されたご意見 9	
原案ページ	P. 33 ⑰情報化推進（業務効率化）事業
ご意見	
<p>⑰情報化推進（業務効率化）事業についてですが、館山市は、出張所が無い為、住民票等をマイナンバーカードを利用して南房総市役所、各地域センター、行政センターで取得を出来れば良いなと思いました。</p>	
事業名	⑰情報化推進（業務効率化）事業
事業概要	業務のデジタル化を推進するため、AI・RPA・マイナンバーカードを活用したシステムの共同利用や経費削減等の情報共有・検討を行い、「業務改善・業務効率化」「住民サービスの向上」につなげる。データの利活用や施設の予約システムなどの共同利用を推進する。
回答	
<p>館山市に登録の情報を南房総市役所及び出先機関等で取得することはできませんが、マイナンバーカードをお持ちの申請者本人の「住民票の写し」「印鑑登録証明書」「所得・課税証明書」に限り、全国のコンビニエンスストア等に設置されているマルチコピー機で取得することができます。</p> <p>このマルチコピー機をそれぞれの市役所等に設置することを検討していきます。</p>	

提出されたご意見 10	
原案ページ	P. 31 ⑮職員の資質等向上事業
ご意見	
<p>平成12年度に鴨川市、千倉町・丸山町（現在：南房総市）で職員交流事業を実施したように（引用市政概要）、館山市・南房総市間で職員交流をしてもいいのではないかと思います。</p>	
事業名	⑮職員の資質等向上事業
事業概要	①外部専門家による研修の合同実施 ②両市職員間の情報交換等の活性化
回答	
<p>安房3市1町の共通事務の効率化を図るため「安房郡市広域市町村圏事務組合」を設置し、事務局職員の派遣や、共同での各市町職員の研修を行っています。</p> <p>また、業務担当者間では、日頃から近隣市町と情報交換を行うなどして、業務連携をとっているところです。</p> <p>2市間での職員交流については、今後検討していきます。</p>	

提出されたご意見 1 1	
原案ページ	
ご意見	
<p>その他の意見としては、市民課証明書代の paypay 等のキャッシュレス決済を進めて欲しいなと思いました。</p>	
事業名	
事業概要	
回答	
<p>多くの自治体で PayPay などの非接触決済が導入されており、住民の利便性の向上につながっていると考えられますので、今後の導入についてそれぞれの市で検討していきます。</p> <p>なお、市税や介護保険料などは、既に PayPay や LINE Pay での納付が可能です。</p>	